



四季彩のまち Kamifurano ふれあい大地の創造



かみふらの



2013

11

NO.654

こうほう

特集

いよいよこれがラスト!

開校記念

第66回東中中学校学校祭

主な内容

災害から身を守るために...

地域の防災力向上をめざして

地域のせわすぎ・せわやき隊

人呼んで...「すきやき隊」募集中!

お答えします 町民ポスト

青空、紅葉、そして真っ白な山。まさに絶景!
～町民歩こう会～ 広報担当撮影

2013 東中中・学校祭 the FINAL



特集

いよいよこれがラスト!

閉校記念 第66回東中中学校学校祭

町内小・中学校の統廃合の歴史

昭和37年	旭野小学校が上富良野小学校に統合
昭和39年	江幌中学校が上富良野中学校に統合
昭和41年	日新中学校が上富良野中学校に統合
昭和42年	創成小学校、江花小学校と上富良野小学校の校区の一部を統合し上富良野西小学校が開校
昭和48年	里仁小学校が上富良野西小学校に統合
昭和54年	日新小学校が上富良野西小学校に統合
平成18年	清富小学校が上富良野西小学校に統合

かつて、上富良野には9つの小学校と4つの中学校がありました。上富良野小学校、東中学校、江幌小学校のほか清富小学校、日新小学校、旭野小学校、江花小学校、里仁小学校、創成小学校（上富良野西小学校は昭和42年に開校）。中学校は上富良野中学校、東中学校、江幌中学校、日新中学校。しかし、時は流れ、農村地区の子ども達の減少とともに一つ、そしてまた一つ、明かりが消えるように閉校、他校への統合が行われてきました。

そして、来年の3月31日をもって、また一つの学校の歴史に幕が降りようとしています。今月は10月20日に行われた東中学校、最後の学校祭の様子を、皆さんにお届けします。

ラストテーマは「有終」

以前から学校祭に来ていた地域の老人クラブ「東中睦（むつみ会）」の皆さんですが、昨年から住民会のふれあいサロンも兼ねての開催としており、小さな子どもから高齢者まで多くの方が会場に足を運んでいました。

今回のテーマは「有終」。最後まで物事をやり遂げる、全うするというものとの意味になぞらえ「最後の学校祭を華やかに成し遂げたい」との思いが込められています。

オープニングは、生徒5人が小学校の時に習った「清流太鼓」。小学生の時の音とは明らかに違う力強い響きに、須賀美都江校長は「3年ぶりに叩いてみて、自分たちの成長を感じていたのではないだろうか」と、感慨深げに開会にあたってのあいさつ。

住民会長の高松克年さんは「プロگرامを見て、最後の学校祭をどのように終えるのか真剣に考えたんだな、ということが伝わってきました。この場に立ち会えたことに感激しています」と語り、生徒たちにエールを送りました。





笑いあり、涙あり…

最初のプログラムは昨年も行った好評企画「笑店リターンズ」。石川啄木の短歌「はたらけど はたらけど猶（なほ）わが生活（くらし） 楽（やす）にならざり ぢっと手を見る」をパロディーするお題では「婚活せど 婚活せどなお我が妃（きさき）あらわれじ ○○先生」名前前は本人の名誉のため伏せさせていただきます」と詠むと、会場は大爆笑！しかし、当の本人が座布団運びだったため座布団は全部没収（写真に「本人が写っちゃってますね…」）。

次の俳句のお題では「東中の人ならだれでも思っているはずです…」。『いつまでも あつてくれよ 東中』と詠まれると、会場では「うん、うん」と静かにうなずく姿が見られました。続いては、PTAと先生たちによる

歌やダンスのパフォーマンス。元気にAKB48の曲をダンスもバッチリに歌い終えたときに、思いがけないハプニングが発生！ 子どもから花束を受け取ると、センターにいた3年生のお母さんの目から涙が…。するはずだったあいさつも、言葉になりません。

会場にいたほかのお母さんからも「そんなに泣かれたら、涙がみんなに伝染しちゃうよ、ううう」と震える声が漏れていました。会場にいる皆さんが、それぞれの思いを抱えながらの最後の学校祭であることを、改めて感じさせられた場面でした。

さあ、クライマックスだ！

午後の部は演劇「十勝岳（やま）と共に」。上富良野に入植して30年。汗水流して開拓した土地が、大正噴火に

よってすべて一瞬で泥流に飲み込まれてしまつた。悲鳴と叫喚（きよつかん）が渦巻く修羅場と化した上富良野。当時の写真をスライドで交えながらのオリジナルのストーリーが展開されます。

「土地が生き返るわけがない」とあきらめ始める者、「先人たちが切り拓いたこの土地を…。ここで生き抜かんといけんのじゃ」と何とかしがみつこうとする者。そして、苦心の末にやつと稲が根を下ろします。ラストは「どんなことにも負けずに生きていくことが俺たちの使命。十勝岳（やま）とともに…」とのせりふで幕。66回を数える東中中学校の学校祭のラストを飾るにふさわしい内容と演技に、会場からは大きな拍手が送られていました。

「5人は東中が大好き。『最後になるかもしれないけれど、東中で卒業するんだ』と入学してきた日を思い出しま

す。そして、3年間の成長を見せるのが、最上級生である3年生にとつての学校祭。立派に成長したと思います」との須賀校長のあいさつで、最後の学校祭は閉会となりました。

来年に開校を控えて

来年3月の開校について睦会の皆さんに話をうかがうと、口々に開口一番「さびしいよ」。東中神社のお祭りもかつてのようになにげはいはなく、青年部の出店があるものの、お参りもバラバラで行くとのこと。

ソフトボール大会など住民会対抗の行事はあつても、地域のさまざまな世代が集まる機会は、東中小・中学校の合同運動会とこの学校祭くらい。「子どもがたかさんいたころは、何かと関係があつて学校の行事にも来ていたんだけど…。でも、子どもが少なくなっているんだから仕方がないね」と話す残念そうな表情が印象的でした。

高松住民会長は「ふれあいサロンは年3回やっていますが、いろんな世代が集まるこの雰囲気は、何とか大切にしたいと思っています。中学校はなくなりませんが小学校は残るので、これから継続できるよう調整していきたい」と話してくれました。

農村部の人口減少、進む少子高齢化など、地域を取り巻く状況は確実に変化しているようでした。

災害から身を守るために… 地域の防災力 向上をめざして



大災害としてまだまだ記憶に新しい東日本大震災。災害に対応すべき行政機関も被災し、対応困難な状況が発生しました。そのとき、活躍したのが地域住民や自主防災組織。迅速な避難行動から避難所運営まで自主的に行い、地域の方々の助けとなりました。

上富良野町でも十勝岳の噴火や河川のはんらん、地震による被害などが想定されるため、住民会ごとに組織された自主防災組織の力が今後、重要となってきます。災害時の強い味方、自主防災組織の活動についてお伝えします。

台言葉は

「自助・共助・公助」

災害時には「自助」と「公助」、そしてこの2つが連携することで生まれる「共助」、この3つが機能することで被害を最小限にとどめ、早期の復旧につながるものとされています。

「自助」とはふだんから災害に備えたり、災害のときには事前に避難したりするなど自分の身を守る準備をすること、「公助」は役場や消防、警察など公的機関による救助活動や支援物資の提供などをいいます。そして「共助」とは、「自助」と「公助」が協力し、救助活動や避難者の支援や避難所の運営を行うこと。

町では地域防災計画の防災指針の一つに「自助」に該当する自主防災組織についても定めており、地域の防災力の向上が期待されています。

地域防災力の向上 のための「自主防災 組織」と「防災士」

町内の25住民会にはすべて、会ごとに自主防災組織が結成されています。

自主防災組織は、災害に対して地域住民が自主的に協力し合い被害を最小限にとどめるためのもので、日ごろから住民に対し防災知識を広めたり、防災訓練を実施するなど、災害に対する

備えを行います。

また、実際に災害が発生した際には避難者の支援や救助・救出、避難所の運営といった活動を行なうなど、非常に重要な役割を担うものです。

そして、自主防災組織の中心的な存在となつて、地域の防災リーダーとして活躍が期待されるのが「防災士」。

防災士は「社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のため活動が期待され、十分な意識・知識・技術を有すると認められた人」とされ、資格を取得するには「防災士研修講座」で防災についての知識を学び、消防署や日本赤十字社などが行う「救急救命講習」で人の命を守る応急手当や救命手当を習得した後、資格試験に合格することが必要で、それらの過程を終了し十分な知識を得てから、防災士として地域で活躍することになります。

上富良野町では、平成24～26年度の3年間、上富良野町防災士資格取得支援事業として、防災士にふさわしい人材を各自主防災組織から推薦してもらい、育成しています。平成25年11月現在では31人の防災士がおり、町内で活躍いただいています。

いつ襲ってくるかわからない災害。私たち一人ひとりが十分な自分の備えをするのはもちろんですが、日ごろからお互いを助け合つための態勢づくりに参加し、意識と情報を共有することも、命を守るためには重要です。

宝くじ助成金で防災用資機材を整備



西富住民会自主防災会では、(財)自治総合センターの宝くじの助成金により発電機やストーブなどの「防災用資機材」を整備しました。

この助成事業は、災害発生時や火災初期の消火活動時に必要となる資機材を整備し、地域住民の生命や財産は地域で守る「安全で災害に強い地域づくり」を推進するとともに、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。



自主防災組織 の防災訓練

東明住民会と西富住民会では10月6日、自主防災組織が企画した防災訓練が行われました。趣向を凝らした2つの訓練の様子をお伝えします。

東明住民会

今回、東明住民会で初めて行われた自主避難訓練には、地域の住民71人が参加しました。

午前10時15分に防災無線での自主避難を促す放送を聞き、住民が東明会館まで徒歩で避難。高齢で足が不自由な方に役員が手を貸す場面や、防災グッズが入ったリュックを持って避難してくる方も見られました。避難所では参加予定者名簿と避難者を照合し、避難者名簿の作成も練習しました。

訓練終了後に2人の防災士からの講話があり、多田正人防災士からは、「避難するときはパッと逃げず、まず周囲が安全か確認し、安全であれば周りの人と誘いあつて逃げて」と避難の際の注意点が話されました。

佐々木三千吉防災士は、実際に自分が準備している非常持ち出し品の内容を披露。その後、参加者が持参した持ち出し品の内容を一緒に確認しまし



持ち出し品の紹介をする佐々木防災士

た。参加者からは「ああやって準備をすればいいんだね」「あのグッズは便利そう」「自分が準備しているものは、ちょっと足りないかな」などの感想が聞かれました。

町の藤田三郎防災アドバイザーからも、東日本大震災で指定避難先よりもっと安全な所へと避難した「釜石の奇跡」を例に、「定められた避難所に到着しても、余裕があれば、より安全な場所に避難を」「避難訓練に積極的に参加することで、本番は臨機応変に対応できる」との話がありました。

東明会館裏のゲートボール場では訓練用消火器で消火訓練も実施。ホースの持ち方や安全装置のピンを外すタイミングなどを確認しました。

丸田武住民会長は「避難に支援が必要な方を記した防災マップを作成し、支援に向かう担当者も決めておくなど災害時の態勢づくりを進めたい」と話していました。

西富住民会

午前10時、防災無線により避難指示が西富地区にのみ流され、公民館への避難を開始し、訓練がスタート。

歩道に立つての避難誘導訓練、避難者を掌握する確認訓練を行い、避難終了後には西富住民会の幅中章悟防災士から、札幌市で行われた防災講習会の内容を伝える講話がありました。

講話では東日本大震災を例に、

・避難訓練をして災害の恐ろしさを教えていた学校と、そうでなかった学校では死者数が全く違った
・昼と夜、夏と冬では環境が違うので、それぞれの状況に合わせた避難方法を確認しておく

・水、食料、コンロ、ガスなどの非常用持ち出し物品を用意する

・家族間の安全確認をするため、災害伝言ダイヤルを利用する、遠くにいる親類を経由するなど、お互いの連絡方法を話し合っておく



体が不自由な人を想定しての避難訓練

・地震時には火を消す前に自分の身を守ることを優先し、危険が去つてから消火する
など、日ごろから心がけておくべきことが話されました。

引き続き行われた救助・救出訓練では、災害弱者といわれる体が不自由な高齢者やけが人の避難を想定し、車いすやリアカ、担架のほか、おんぶ帯を使って実際に背中に背負つての搬送訓練が行われました。

その後は消火器使用訓練、救出の際に障害となる材木などを切断する訓練も行い、この度、宝くじの助成金を活用して整備した防災資機材の見学を行いました。

最後に、朝から炊き出し訓練として調理されたカレーライスを昼食に取り、訓練を終えました。

訓練に立ち会った北川和宏総務課長は、参加した62人を前に「災害時には自助、共助、公助の3つが必要といわれている。非常時には（株）共成レンテムとは発電機や投光器、仮設トイレなど、コンビニエンスストアとは食料をそれぞれ優先的に調達してもらうという連携を、友好都市の三重県津市とはホームページ上で災害の状況を伝えてもらうという体制を整えてはいるものの、これら公助はどうしても遅くなってしまう。自助と共助、この2つが命を守る重要な力になる。継続した訓練の実施を」と話していました。

かつて、子どもたちは家庭や学校だけでなく隣近所、そして地域で見守られながら育っていました。家庭もお父さんやお母さんに加えおじいちゃんやおばあちゃん、そして兄弟も多いなどさまざまな年代に囲まれ、そのつながりの中で、いろいろなことを感じながら成長していました。

核家族が進み、近所付き合いも希薄になってきた現代。地元を離れ、親、兄弟、親戚なども身近な存在とはいえなくなり、かつてはおばあちゃんなどがそばにいて見守りながら行われていた「子育て」一つを取っても母親が一人で悩み、思い詰めてしまうケースもあるほど、それぞれの存在が孤立化しているといわれています。

そのような時代において、周りの子どもを気にかけてくれる「世話好き」さんたちが集まって、地域の子どもは地域で守り、地域で育てていくというのが「せわずき・せわやき隊」で、略して通称「すきやき隊」。

北海道では「子育てについて世話をやきたい人たち」という思いを込め、地域で子育て・子育てにかかわって活動いただいているボランティアの方々をこう呼んで登録団体を募集しており、その活動内容をホームページで紹介しています。

さあ、皆さんも地域の子育て・子育てを支える「すきやき隊」の一員になってみませんか？

地域の せわずき・せわやき隊

人呼んで…「すきやき隊」



募集中！

申込み・問合せ

北海道保健福祉部子ども未来推進局少子化対策グループ
〒011-231-4111(内線25-764)
保健福祉課子育て支援班 ☎46987



Qめざすのは？

核家族化や地域住民間の交流の少なさなどから生じる

・子育て中のお母さんや子育て家庭の孤立化の防止

・子育て不安の解消

・地域の子どもの安全を確保するなど「地域の子育て力のパワーアップ」を図り、子育て家庭と周りの人たちが気軽に話し合える関係を持つことができる地域社会をめざしています。

Qどのような団体・サークルが参加できますか？

市町村や地区単位で活動する子育てサークルや、子育てや子どもの健全な成長を支える活動を行っている団体であれば参加できます。

◆「すきやき隊」の活動事例

・登下校の見守りなど子どもの安全に関する目配り

・ファミリーサポートや講演会中の子どもの世話などの一時預かり

・本の読み聞かせなどの育児支援

・子どもとの遊び、スポーツを通じてたふれあい

・子育て・子育てに関する相談相手

・子育てに関するイベントの開催

・子育て中の親の交流機会の提供や子育てなどに関する支援活動など

Q参加したいのですが…

参加申出書に必要事項を記載のうえ、活動内容のわかるもの(活動紹介用のチラシや会報などを添付して、役場保健福祉課子育て支援班か北海道子ども未来推進局へ提出してください。

町内のすきやき隊登録第1号 「読み聞かせ会 ムーミン」代表 の羽智美代子さんに聞きました！

子どもたちの本離れ、活字離れが取り上げられるようになり、最近の子育て中のお母さんは忙しく、ゆっくり絵本を読んであげる時間をなかなかつけないという状況も耳にしていたことから、自分たちが大好きな「本」を子どもたちにも好きになってもらうと活動を開始。読み聞かせを終えると「ああ、短かったなあ…。もっと長いを読んでー」とリクエストされることもあつてです。

「乳児から小学生まで幅広く読み聞かせしているの、街角で『あつ、読み聞かせのおばさんだ。こんにちは！』と声を掛けてくれるんです。絵本を読むことを通じて、子どもたちのたくさん笑顔に出会えることが一番の楽しみなんです」と話してくれました。



ムーミンによる読み聞かせ



こんなご意見が寄せられました



あなたの意見を町政へ!

お答えします

町民ポスト



【ご意見】

10月4日にパスポートの件で男性職員にいろいろと相談に乗ってもらいました。お役所の手続き方法や流れなどが我々にはつかめないので、二度手間になったり、間違えて手続きできなかったりする中で、この方は「もし、こうなったら…」という先のことまで読んでくださって、より最善を尽くしてくれようとしている姿勢があつて、大変感激しました。

こんな時代でも、こんなに親身になつて町民のために尽くしてくださる職員がいるなんて驚いています。今後、このような職員が増えていったらうれしい限りです。

本当に分からないことばかりでお手数をおかけしましたが、本当に助かりました。ありがとうございました。

～以下省略～

【回答】総務課総務班

職員の対応について、お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。

今後も町民の皆さんに親しまれ、また信頼される対応を心掛けるとともに、引き続き職員の育成を図ってまいりたいと思います。

「ご意見・ご要望を」

お寄せください

町内9か所に町民ポスト、町のホームページに電子ポストを設置しています。行政施策などに対するご意見・ご要望をお寄せください。

なお、いただくご意見につきましては、詳細についての確認が必要な場合もありますので、氏名、住所、電話番号をお書きください。

匿名での投書については担当課に対しその内容を伝え、協議することとしていますが、「ご意見の内容と」「意見に対する回答と対応については原則、広報かみふらのには掲載せず、公には周知しないことをご承知ください。

「ご意見・ご要望」ご回答は、役場1階町政情報提供コーナーで公開します。

問合せ 町民生活課自治推進班

☎69985

11月は児童虐待防止推進月間です

さしのべた
その手がこどもの
命綱



子ども虐待防止…。

あなたにできること。

●虐待と思われる事実を知ったときには通報してください。

●子育て中の親子に優しいまなざしをお願いします。

●子育てに悩んでいる人は、ひとりで抱え込まずに相談してください。

●虐待で苦しんでいる子どもは、がまんしないで相談してください。

●虐待を受けた子どもたちの親代わり（里親）になってください。

●子どもの身体と心が傷つく前に、気付いてあげてください。

気になる子がいたら…

あなた自身が悩んでいたら…

ご連絡ください。

□保健福祉課子育て支援班

☎69987

□子育て支援センター

☎6501

□旭川児童相談所

☎0166・23・8195

□児童相談所全国共通ダイヤル

☎0570・064・0000

※連絡は匿名で行つても可能です。

連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

町では児童相談所、保健所、学校、幼稚園、保育所、警察、消防、民生児童委員など「上富良野町要保護児童対策地域協議会」を組織し、連携・協力して児童虐待防止に取り組んでいます。

児童虐待を当事者だけの問題とせず、地域で、社会全体で解決していきましょう

今も あしたも あさっても やっぱり このまちが 好きだから

「吹上露天の湯」の湯守(ゆもり)

泉 守 さん

いずみ・まもる 昭和21年、上川管内美瑛町生まれ。

吹上露天の湯に自作の看板を設置したり、清掃をするなどのボランティアを行う。趣味はかつてラーメン屋を出したほどの腕前の料理のほか、「葉物以外はだいたい作っています」という家庭菜園とカラオケ。「昔は人前で歌ったりするのは好きではありませんでしたが、最近はこちらで出会った人たちとたまに夜の街に出て歌ったりしますね」と、「夜の趣味」について話してくれました。

夏でも冬でも豊富なお湯が浴槽に注がれ、山間にぽつんとある自然に囲まれたワイルドなシチュエーションから、地元の方だけでなく多くの観光客が訪れる、町を代表する人気スポット、吹上露天の湯。

「2週間ごとに、大きい浴槽と小さい浴槽を交替で掃除しています。放っておくと緑色のこけでヌルヌルになるんです。時にはお客さんが手伝ってくれることもあります。『こんなに汚れてんだ』と、みんな驚きますよ」

清掃はお湯を抜いて、側面はブラシを手にゴシゴシと、底面はデッキブラシでこすります。小さい浴槽で30〜40分、大きい浴槽は1時間強かかるそうです。一緒にやっていた仲間が腰を悪くしてしまったため、現在は一人で掃除しています。

「椎間板ヘルニアで過去に3度、腰を痛めてしまつて。病院にも行っていました。がなかなか良くなり、ここに通ったんです。そうしたら、治っちゃった。『鶴の恩返し』じゃないですが、腰を治してもらった恩返しという意味もあつて掃除してるんです」

掃除をするようになったのは10年ほど前から。今でも掃除を終えると毎回お湯に浸かり、いろいろな人たちとおしゃべりを楽しみます。

「農家のお母さんから、大根の種のまき方や漬物のつくり方、山菜を色付きよく保存する方法を教わったりしましたよ。でも、一番楽しいのは若い人とおしゃべることかな」

かつては陸上自衛官だった泉さん。

「今はどうかわかりませんが、私が現役のころは『命令、命令』ですべてが進んでいく職場でしたから、若い人から何かを吸収しようなんて思つていなかっただけ。でも、今は若い人と話すのが楽しいんです。若い人のいいところをパクっちゃう。お湯に浸かりながらいろいろな人の話を聞いて、いいところを吸収するのが楽しいですよ」

以前、役場の担当者が清掃についての謝礼を支払おうとしたところ「そんなものはいらない」と断つたというエピソードについて聞いてみると…。

「私はここが好きで、自分が楽しいからやっているんです。お金なんかもらったら、楽しくなくなっちゃう。」



お湯を抜き掃除。左が泉さん作の看板。

やってみると結構、楽しいですよ」

インタビュアーの間、泉さんの口から「楽しい」「楽しんで」「楽しいから」という言葉が幾度も発せられました。

露天風呂のそばに設置されていた「吹上露天の湯」の看板が古くなつていたので、役場の了解をもらつて看板を自作して設置。パークゴルフ場の案内看板も仕上げ、今は日の出公園の頂上に設置する紹介看板を製作中。

「日の出山の頂上から見ると、十勝岳連峰からの『日の出』がすごくきれいで大好きなんです。朝、写真を撮っている方もよく見かけます。それを皆さんに知ってほしいなと思ひまして…」

「富良野と美瑛はみんな知っていますが、露天風呂に入っている人ですら『上富良野』を知らないこともあります。自分のまちだから何か協力したい、そんな気持ちで、体が動くうちは楽しみながらやっていきたいと思っています」



映像を交えながら話す出合祐太さん

西アフリカのブルキナファソの野球の発展のため、青年海外協力隊員とし

10/10 ブルキナファソ野球 講演会にかみふらの

上富良野消防署による消火器無料点検が消防署防災車庫で行われました。家庭用の消火器は古くなると薬剤が固まったり、サビや変形で使つと危険な場合もあるので、定期的な点検が必要。持ち込まれた消火器は丁寧に点検され、有料での薬剤交換や使えないものは無料で回収されていました。一般消火器の耐用年数は10年ですが、回収品の中には37年前の物もありました。皆さんも安全のため、家庭に古い消火器がないか今一度ご確認ください。

10/6 点検済ませて安全に 消火器無料点検



て活動した出合祐太さんの講演会が社会教育総合センターで行われました。

「ブルキナファソはみんなが貧しく何もない国。勉強しても就職できず、親の仕事を継ぐ。そんな環境でも、野球をやってどうなりたいか、何のために野球をやるのか、そういうことを考えてもらうことで、夢や明確な目標をしっかりと持つ、ということを柱に子どもたちに指導しました」と、現地での指導風景などの映像も交えながら、熱い思いを語られました。

現在も日本から支援を続け、今年は日本独立リーグの高知ファイティングドッグスの練習生として迎えられた少年も出てきているなど、その取り組みが少しずつ実を結んできていることが報告されました。



10/10 五輪金メダリストを 迎えるスポーツ講演会

2012年のロンドンオリンピック女子レスリング・フリースタイル48kg級金メダリスト、小原日登美さんの講演会が行われました。

この日は、午前は上富良野小学校で町内の小学3年生以上、午後は上富良野中学校で中学生を対象に「継続は力なり」と題して、夜には保健福祉総合センターかみんで一般を対象に「最初で、最後のオリンピックを目指して」と題して1日3講演を実施。

五輪種目にはない51kg級で6回、世界選手権で優勝したものの、1階級下の五輪種目48kg級には妹の真喜子さんが、1階級上の55kg級には無敵の吉田

沙保里選手。悩んだ末に55kg級でのオリンピック出場をめざすも、吉田選手に敗れ、アテネ、北京と出場権を逃し夢はかなわず、その後引退。

引きこもり、体重も過食により70kgを超えていた小原さんでしたが、真喜子さんの引退を機にカムバック。あきらめきれなかったオリンピックをめざし見事、金メダルを獲得しました。

親友から「人はどこからでもやり直せる! あきらめるな!!」と励ましのメールをもらったエピソードを披露し、「両親やご主人はもとより、たくさんさんの支えがあつてのメダルだったことに感謝しながら「あきらめなければ夢はかなう」と聴き入っていた聴衆に熱いメッセージを送っていました。



夜の講演終了後には記念撮影やサイン、握手に笑顔で、気さくに応じてくれました(〇)/

10/11 笑いは健康の素
落語口演会

落語家グループ「旭笑長屋」からナ
ナカマド紅丸さん、旭笑亭幻太さん、
粋俗館金魚楼(すいぞくかんきんぎょ)



ろくさんの3人を招いての、いしず
え大学と道民カレッジの連携講座「落
語口演会」が武道館で行われました。
いしずえ大学の学生を前に「笑いは
健康にいいんですよ。命よりも健康
だー」とシニールな
ギャグを飛ばすと、
会場は大爆笑。

また「鶴(ツル)さ
んという人が、詐欺
(サギ)にあつて鴨
(カモ)になった」と
さりげなく、昨今の
高齢者を狙った詐欺
も題材に取り入れ、
会場の笑いを誘つて
いました。

10/12 ライオンズクラブ交
通安全キャンペーン



啓発グッズをもらい笑顔のドライバー

上富良野ライオンズクラブと上富良
野町生活安全推進協議会女性部による
交通安全キャンペーンが、見晴台公園
駐車帯で行われました。

冒頭、佐川泰正ライオンズクラブ会
長が「クラブも結成50周年。長年行つ
てきたこの活動で、起きるはずだった
事故を減らせたと思っています。安
全・安心のまちづくりのためにご協力
をお願いします」とあいさつ。

各会員がドライバーに「これからも
事故に気をつけて、安全運転をしてく
ださいね!」と声を掛けながらリーフ
レットとラベンダーのポプリを手渡
し、交通安全を呼び掛けました。

10/12 1千冊を無料で配布
図書館まつり

図書館まつりが公民館で行われ、た
くさんの方が訪れていました。

このイベントは本に触れ、読書に興
味を持つってもらうために毎年行われ
ているもので、一人では持てないほど
の大きな絵本の展示や、読み聞かせボ
ランティアによる絵本の読み聞かせ、ど
んぐりや木の枝を使った写真立て作り
など、内容盛りだくさん。

中でも人気だったのは、図書館の古
本が無料でもらえる「本のリサイク
ル」。1千冊の中から好きなだけ本を
持って帰れるとあって、開場前から多
くの人が詰めかけました。開場後は楽
しそくに本を選ぶ人で大にぎわい。30

10/14 青空、紅葉、雪の白
絶景 町民歩こう会



大雪の山並みを一望しながら歩く

美瑛町の白金温泉から吹上温泉保養
センター白銀荘までの約10kmを歩く町
民歩こう会が行われました。

この日は、遠くは旭岳などの表大雪
の山並みも望めるほどの快晴で、冠雪
した十勝岳も初お目見え。紅葉もピー
クを迎え、黄色や赤に色付いた木々の
バックには、真っ白に雪化粧した十勝
岳連峰が…。青空、紅葉、雪のコント
ラストは鮮やかな一言!

途中、望岳台での休憩を挟んで2時
間超の長い道のりでしたが、参加者か
らは「いやー、きれいだねえ」と感
嘆の声が漏れるほど、絶景を満喫しな
がらのハイキングとなりました。



本のリサイクルでは絵本が大人気

分ほどで大半の本は訪れた方の手に渡
り、中には10冊以上の本を「お持ち帰
り」する方もいました。



勝敗は腕前だけでなく「運」も必要

10/27 フロアカーリングで熱戦 スポーツフェスタ

火災予防や防災についての作文やポスターの製作を通じて児童・生徒に家庭や学校、地域の防火、減災について考えてもらおうと行われているもので、町内からポスター部門で北海道知事賞を受賞するのは初の快挙！

10/21 上富良野小の小林翼さんに北海道知事賞

平成25年度北海道「防火・防災」作品コンクール

小林さんの描いた絵は、きれいな花が火災で燃えてしまう様子から、火災の恐ろしさを表現したそうです。



入賞した小林翼さんとその作品(右)

ふらの沿線スポーツフェスタが社会教育総合センターで行われました。道北圏広域スポーツセンター協議会が富良野沿線5市町村において毎年、それぞれの自治体で盛んな競技の大会を行っているもので、スポーツを通して住民間の交流を深めることが目的。上富良野では競技人口が増えてきているフロアカーリング大会が行われ、5市町村から16チーム71人が参加。滑車のついたフロッカーを的に向かって滑らせ「まがっちゃった!」「いい場所に止まったね」など、歓声を上げながら競技を行い、市町村を越えた交流が図られていました。

優勝 旭中仁恕会A(中富良野町)



あいさつをする堀内会長

10/31 地域福祉を推進 その名も「ふくしん」落成式



お化けかぼちゃづくりに真剣な表情!

10/27 異国に触れた ハロウィンパーティー

社会福祉法人 上富良野町社会福祉協議会の地域密着型の小規模多機能型居宅介護支援事業所「ふくしん」の落成式が行われました。堀内慎一郎会長の「町民のニーズにこたえ、住み続けたいと思える町になるよう、できることはやっていきたい」とのあいさつ後、「地域福祉の推進」から「ふくしん」と名付けた大高時治郎さんに感謝状が贈られました。ふくしんでは介護保険制度の自宅へのホームヘルパー派遣やデイサービス(通所)、ショートステイ(短期の宿泊)などのサービスを24時間年中無休で提供し、高齢者がいつまでも住み慣れた町で暮らすことを支援していきます。

小学生を対象に公民館で行われ、新しい英語指導助手、フレンダ先生の初めての社会教育事業となりました。「カナダでは、ハロウィンには先生も児童も変装して登校し、学校でパーティーをします。大人は夜に、それぞれ仲間とパーティーをして楽しむですよ」と聞いた子どもたちは「学校でパーティーって、いいなあ」とうらやましそうに感想を話していました。お化けかぼちゃづくりのほか、いろいろなゲームを楽しんだ後、最後に一人ひとりに「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれないといたずらするぞ)をフレンダ先生に言いつて、プレゼントのお菓子を受け取っていました。

募集

町職員(建築士)採用試験

平成26年度採用予定の町職員採用試験を実施します。

募集職種 一般職(建築士)
募集人員 1人

受験資格 2級または1級建築士の資格を有し、建築に関する仕事を平成25年11月30日現在、最低3年以上経験し、年齢が平成26年4月1日現在満35歳未満の方

試験公示日 11月5日(火)

試験日 11月30日(土)

試験会場 上富良野町役場

受験手続 以下の3点を提出ください。郵送の場合は、角2の封筒の表に「町職員(建築士)採用試験受験申込書類在中」と朱書きしてください。

①市販の履歴書(JIS規格のもので顔写真を張り付け)

②建築士免許証か建築士免許証明書の写し

③雇用証明書(任意様式ですが、3年以上の建築関係勤務経験が確認できること)

※1社での勤務経験が3年未満の場合は、合わせて3年以上となるよう全ての勤務先から雇用証明書を取り寄せ提出し

てください。

申込期間

11月5日(火)～21日(木)

※郵送の場合は21日(木)の消印有効

申込み・問合せ

総務課総務班 ☎6400

相談

「犯罪被害者週間」キャンペーン

11月25日～12月1日の犯罪被害者週間に合わせ、相談窓口が開設されます。

12時間被害者電話相談 電話、面接、ファクス、メールでの相談を無料でお受けします。

日時 11月28日(木)10～22時
☎011-232-8740
FAX 011-211-8151
<http://www.counseling.or.jp>

被害者無料弁護士法律相談 札幌市弁護士会犯罪被害者支援委員会の協力により行われます。事前に☎011-232-8740に電話でご相談ください。

日時 11月28日(木)14～22時

問合せ 公益社団法人北海道家庭生活総合カウセリングセンター北海道被害者相談室

☎011-251-6408

税

記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

平成26年1月からは、事業所得、不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行うすべての方について、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。

なお、所得税、復興特別所得税の申告が必要ない方も対象となります。

詳細は国税庁のホームページ <http://www.nta.go.jp> をご覧になるか、左記へお問合せください。

問合せ 富良野税務署

☎22144

教育

マイプラン・マイスタディ講座

ワードを使用している名刺づくり、エクセルの応用的な内容を学ぶ「パソコン講座」を開催します。

日時 11月30日・12月7・14日

13時～16時

(いずれも土曜日で計3回)

場所 社会教育総合センター

参加料 4千500円

定員 20人

申込み・問合せ

レインボーサークル代表

喜多静子 ☎9575

平成26年上富良野町成人式

対象者には12月にはがきでご案内します。町外にお住まいで出席を希望される方は、11月29日(金)までに申込みください。

日時 平成26年1月12日(日)

受け付け 12時30分～

式典 13時30分～15時(予定)

会場

保健福祉総合センターかみん

対象 平成5年4月2日～平成

6年4月1日生まれの方

申込み・問合せ

教育振興課社会教育班

☎5511

上富良野町総合文化祭
第50回記念奨励事業

リトルピアニスト・コンサート

ぜひ、ご鑑賞ください。

日時 11月23日(土) 14時～

場所 保健福祉総合センターかみん

主催・問合せ

リトルピアニスト 但木愛華

☎090-8903-1698

[広告]

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm×8.5cm 5,000円

4.5cm×17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm×8.5cm 5,000円

4.5cm×17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

福祉

みんな集まれ〜！
「わいわいらんど」

お年寄りや障がいのある方、子どもたちが「わいわい」といれあつて、楽しい時間を過ごす「わいわいらんど」。今年はご当地キャラクター「らべとん」も遊びに来るよ！

みんなも、子どもセンターに遊びに来てね！

日時 11月23日(土)

10時〜13時

場所 子どもセンター

(町立病院となり)

内容 絵本の読み聞かせ、室内大型遊具、木のおもちや、フリーマーケット、輪投げコーナー、ジュニアコーラス公演

問合せ 子どもセンター

☎6501

保健福祉課子育て支援班

☎6987

講習会

消防設備士講習

平成25年度工事整備対象設備等の工事又は整備に関する講習が行われます。

講習区分 特殊消防用設備等

(甲種特類)、消火設備(甲乙1. 2. 3類)、警報設備(甲乙4類・乙7類)、避難設備・

消火器(甲乙5類・乙6類)

日程

2月20日(木) 警報設備

2月21日(金) 消火設備、避難設備・消火器

場所 旭川市6条通4丁目旭川市勤労者福祉会館

受講料 講習区分ごとに7千円(北海道収入証紙)

受付期間

11月21日(木)〜12月13日(金)

問合せ 上富良野消防署

☎2119

その他

11月は労働保険適用促進強化月間です

事業者の皆さん、労働保険の加入はお済みですか？

労働保険は労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安

定、福祉の増進など図るため、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を1人でも雇用する事業について法人、個人を問わず加入が義務付けられています。

労働保険に加入して、従業員が安心して働ける職場にしましょう。

問合せ 厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課

☎011・709・2311

電気計器の有効期限は切れていませんか？

貸しビルやアパートなどに設置している証明用電気計器(子メーター)は計量法で定める検定の有効期限内のものでなければ使用できません。

子メーターはオーナーが一括して払った電気料金を、各室の使用量に応じて配分するために使用されています。

有効期限は計器に付いている検定ラベルなどに表示されていますので、ご確認ください。

問合せ 日本電気計器検定所北海道支社

☎011・668・

2437、北海道経済産業局

資源エネルギー環境部電気・

ガス事業室

☎011・709・8353

今年の年金のお話

国民年金保険料は所得税、住民税申告において、納付した全額が社会保険料控除の対象となり、その年の1月1日から12月31日までに納付した額が控除対象額となります(過去の年度分や追納保険料なども含みます)。

この社会保険料控除を受けるには、納付したことを証明する「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」か「領収書」の添付が義務付けられています。

平成25年中に国民年金保険料を納付された方には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」(はがき)が、11月か来年2月上旬に日本年金機構本部から送付されます。

年末調整や確定申告の際に必要ですので、捨てずに大切に保管してください。

※家族の保険料を納付した場合でも本人の控除に加えることができませんので、家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

問合せ

旭川年金事務所

☎0166・271・611

町民生活課総合窓口班

☎6985

[広告]

広告を掲載しませんか

広報かみふらの中では、掲載いただける有料広告を募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm×8.5cm 5,000円

4.5cm×17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

みんなの伝言板

小さな美術館

菅井茂樹と読みきかせ会ムーミンの仲間たち

菅井茂樹 絵画展

日時 11月17日(日)〜12月1日(日) 9時〜16時

読み聞かせ、パネルシアター、ぬりえ教室

日時 11月23日(土)・30日(土)

10時〜12時と14時〜16時

場所 社会教育総合センター ラウンジ

主催 読みきかせ会ムーミン(代表 羽賀美代子)

問合せ 菅井茂樹(担当) ☎090-7873-2253



せきでら しょうや
関寺 翔哉くん
(平成20年生まれ)



「好きな色はオレンジ」と教えてくれた翔哉くん。オレンジと黄緑色のふくろうは、難しい耳も丁寧に折られており、先生からも「上手だね」と褒められていました。

作品名 『ふくろう』



折り紙が得意な瑞季ちゃんは「ふくろう、簡単に折れたよ」と作品を見せてくれました。先生のお手本をよく見て作り、友だちよりも手早くできたそうです。



さとう みずき
佐藤 瑞季ちゃん
(平成19年生まれ)

役場のお仕事

「建設水道課建設班」の巻

「お役所仕事」じゃなくて、

今月は私、広報担当がいる町民生活課のもつ一つのお隣さん、建設水道課の建設班のご紹介です。
町道、普通河川、橋りよつの新設・改良や維持管理、道路標識・交通安全施設の設置・管理、都市計画事業、景観づくり、公園の維持管理、公共施設の工事の設計監理、建築基準法に基づく建築物の指導監督、建築確認申請の審査・検査、公共土木施設の災害復旧事業などなど、町内に住む私たちの生活の基盤となる施設の整備・維持管理を行うのが建設班のお仕事。

生活に直結した仕事をしているが故に、建設班には町民の皆さんからたくさんのお声、そしてさまざまなご意見やご要望、苦情が寄せられます。
中には「車が雪に埋まっちゃって動けないから、重機でちよつと引つ張つてよ」と、町民の方から役場にSOSの電話がかかってくることもあるそうです(残念ながら、役場ではそのようなサービスは行っておりません…)。
中でも最も苦情が多いのが道路に関するもの。「何これ、ガッタガタじゃないのっ!」「ぶたぶたっ」と職員である



ひび割れた道路。年次的に整備を行います…

る広報担当が思つくりいですから、苦情を言つたままでは行かないまでも、同じように思っている方も少なからずいると思います。今年度は春先に凍上して凹凸になる路線に多めの予算を投入して簡易舗装をかけたそうです。しかし、限られた財源の中ですべて一気に対応するのは不可能。部分的な補修は随時対応しつつ、全面的な改修は緊急度を考慮しながら年次計画に基づいて順次、工事しているとのことでした。

また、日の出公園の管理も建設班のお仕事。今年はラベンダーの植え替えを行いました。雪解けの遅れで作業がずれ込み、植え替え終了後には日照り続きで株が枯れ始める始末…。取材に訪れた時には、散水施設がないため散水車から農業用の散水チューブを使い、土にまみれ、水にぬれながら懸命に水をまく職員の姿がありました。
日の出から日没後も休みなく水をやり続け、何とか株が活着。その後も枯れた株の補植を行いながら成長を見守っており、見ごろは2年後ぐらいとのこと。かつてのような「紫のじゅうたん」の復活に期待ください!

本町3丁目 小林光一さんの浮き玉の人形



浮き玉の取っ手を耳に見立てた夕又キちゃん

小林さんが、庭を飾る浮き玉の人形を作り始めたのは10年ほど前。「稚内へ行つたとき、道路に交通安全と書かれた浮き玉のカエルを見かけてね。ほしかったから」。

その後、別の人から作り方を教えてもらつた機会があり、自分で作るようになりました。佐呂間町の友だちから譲ってもらつた、古い浮き玉を使い、工夫しながら人気アニメの人形などを制作。玉のつなげ方にもコツがあるそうです。

「作るうちにうまくできるようになつてね。おもしろくて冬の間にはコツコツ作っているよ」と人形作りに夢中の小林さん。一時期は30個まで増え、ガーデニングの添え物だったはずが、いつの間にか庭の主役だ。

今では人形がいっぱいの楽しいお庭を見物しに近所の子どもから旅行中の外国人まで訪ねてくるそうです。



富良野市「贈り物に『ふらのワイン』はいかがですか」

お世話になった方への贈り物に、ふらのワインはいかがでしょうか。2013国産ワインコンクール受賞ワインや、11月には、今年収穫されたぶどうで作る「新酒富良野」も発売されます。ぜひお使いください。

問合せ 富良野市ぶどう果樹研究所 ☎3242

中富良野町「中富良野ワイン『かおりのあか・めぐみのしろ』

さわやかな風と緑の森が育てた、セイベル種100%のワインです。みずみずしくフレッシュな口当たり、すっきりとした中にもきめ細やかな喉ごし、中富良野の彩り豊かな景色がまぶたに浮かびます。軽く冷やしてどうぞ…。

※町内および沿線で販売中

問合せ なかふらの酒造振興会 ☎2213

南富良野町「カーリングに挑戦しませんか？」

空知川スポーツリンクスカーリング場が11月1日にオープンしました。

カーリングは、オリンピックで一躍脚光を浴び、その魅力は見る人を取りこにした「氷上のチェス」「氷上のビリヤード」とも呼ばれる知的で奥の深いスポーツです。

あなたもカーリングに挑戦してみませんか？

問合せ 空知川スポーツリンクス ☎2449

占冠村「今年のしばれはどれくらい？」

道の駅「自然体感しむかつぶ」のポケットパークには大きな寒暖計が設置され、その年の占冠村の最低気温が表示されています。今シーズン冬の気温は何度になるのでしょうか？

かわいい雪ダルマが乗っている寒暖計。記念撮影にいかがでしょうか。

問合せ NPO法人占冠・村づくり観光協会 ☎8010

問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎6987



今月もあなただけに秘策を授けます

野菜の種類や調理法にもよりますが副菜の小鉢1皿分は大体、生の量で約70gになりますので、1日に小鉢の料理を5皿食べると約350gの野菜が取れることになります。また、具だくさんの汁物は小鉢1皿分、主菜となる野菜の煮物や八宝菜、野菜炒めなどは2皿

「秘策その②」を先月に引き続き、これを読んでくださる方だけにお伝えしちやいますよー！

このコーナーのテーマ「1日の目標野菜摂取量350g」は調理前の生の状態での重量です。多くの野菜はゆでると軽くなり例えば、ほうれん草100gをゆでると約70gになりますが、この場合は100gの野菜を食べたこととします。

先月は簡単に生の状態の350gの量がわかる「手ばかり栄養法」をお伝えしましたが、今月は、皆さんに外食などの際にも気を付けていただけるよう、調理された状態の野菜の摂取量が簡単に分かつちゃうという



ほうれん草のごまあえ



野菜サラダ



切り干し大根の炒め煮



具だくさんの味噌汁

分としてカウントします。野菜サラダ、金平ごぼう、きゅうりもみ、ほうれん草のお浸し、具だくさんの味噌汁など多くの種類の野菜を取ることが望ましいですが、野菜サラダを2皿、金平ごぼうを2皿、ほうれん草のお浸し1皿の3種類であっても、緑黄色野菜と淡色野菜をうまく組み合わせることが大切です。量と種類、両方を考えることを忘れなく！

応急手当、特に心肺蘇生法などその場で行われる救命処置は、傷病者の生命を救えるかどうかの重要なカギを握っているといえます。救命処置を試みた結果に対して「法的な責任が生じるのではないか」と心

【事例】AED使用で救命したケース
60歳の女性が、スポーツの試合後に「めまいがする」と訴えて倒れました。
そばにいた救命講習を受講したところのある仲間数名が駆け寄り、声を掛けたところ反応がなく、ふだん通りの呼吸をしていませんでした。
心肺蘇生をする者、119番通報をする者、AEDを搬送する者にそれぞれ分かれて迅速に対応し、AEDにより電気ショックを1回実施。救急隊到着時には呼吸と脈拍が回復していました。

そばにいた救命講習を受講したところのある仲間数名が駆け寄り、声を掛けたところ反応がなく、ふだん通りの呼吸をしていませんでした。
心肺蘇生をする者、119番通報をする者、AEDを搬送する者にそれぞれ分かれて迅速に対応し、AEDにより電気ショックを1回実施。救急隊到着時には呼吸と脈拍が回復していました。



あなたの知識と勇気が命を救う



配される方もいらつしやるかもしれませんが、善意で行った応急手当については原則、その結果を法的に問われることはないと言われています。
大切なことは「生きるか、死ぬか」の瀬戸際にいる方に、勇気を持って一刻も早く処置を行うことであり、それには応急手当の知識が必要です。
上富良野消防署では心肺蘇生法やAEDの使用法、けがの手当てなど応急手当講習会をご希望に応じ、随時開催しています。団体や職場単位で受講してみませんか。講習は一般救命講習、救命入門コース、普通救命講習・Ⅱ・Ⅲ、上級救命講習があります。

問合せ 上富良野消防署救急救助係 ☎2119

夜空を 見上げれば...

問合せ
教育振興課社会教育班 ☎5511

☆11月の上富良野の星空は...



今回は、今月29日に太陽のすぐ近くを通り過ぎる「アイソン彗星(すいせい)」についてのお話です。アイソン彗星は正式名を「C/2012 S1(ISON)」といい、1997年、今世紀最大級の明るさといわれたヘール・ボップ彗星をしのぐほどの大彗星になるのではと期待されています。

上の図は12月7日午前5時30分のアイソン彗星をコンピュータで描いた予想図です。十勝岳の少し南側に長い尾を従えた雄大な眺めになるかもしれませんが、アイソン彗星は11月下旬から12月上旬まで太陽のすぐそばまで近づいて明るく輝くと予想されています。この期間は少しでも早起きをして、十勝岳の方角を探してみてください。

彗星は氷やちりできており、太陽に近づくときそれらが熱と太陽風によって「尾」という形で流れ出し、太陽の光を反射して明るく輝きます。アイソン彗星は最も太陽に近づく11月29日前後には、一等星よりも明るいマイナス等級になると予想されていますが、残念ながら太陽の光が邪魔をして見る事ができません。また、11月下旬は月明かりもありますので肉眼で見つけるのは難しいかもしれませんが、12月3日から10日ぐらいまでの朝5時ごろからが肉眼で見えるのに適していると思われます。空が暗く、周囲に明かりがない、東の方角が開いている場所が眺めるのに適しています。安全に観察できる場所を、今から探しておいてはいかがでしょうか。

インターネットでは、日本天文協会の主催する「アイソン彗星を見ようキャンペーン」という楽しい企画もあります。パソコンでのアクセスを前提としていますがスマートフォンからも参加可能で、観察に役立つ最新情報が満載。「あなたの観察」した情報を投稿すれば、地図上にフィードバックされるコーナーもあります。[アイソン キャンペーン](#) [検索](#) でアクセスできますので、ぜひ一度のぞいてみてください。

また、12月10日(火)の天体観望会では、アイソン彗星の位置が一目で分かる特製星座早見盤キットをプレゼントします! ぜひ、ご参加ください!!

たくさんの善意 ありがとうございました

町へ

- ◎安達まり子さん 5万円
- ◎小林一美さん 10万円

町立病院へ

- ◎渡辺一子さん 5万円
- ◎立松昭雄さん 5万円

ラベンダーハイツへ

- ◎上村進さん 1万円
- ◎包子キノさん 2万円
- ◎渡辺一子さん 10万円

消防署へ

- ◎立松昭雄さん 5万円

社会福祉協議会へ

- ◎上村進さん 1万円
- ◎たられば会 1万5千円
- ◎菅原典助さん 5万円
- ◎芳賀吉弘さん 5万円
- ◎小林一美さん 10万円
- ◎立松昭雄さん 5万円
- ◎書道愛好会 1万円
- ◎角波光一さん 5万円

★12月の天体観望会★

北海道大学高等教育推進機構研究員の中西靖男氏を講師に、月や海王星などを観察します。悪天候の場合は天体映像鑑賞会となります。参加は無料です。

日時 12月10日(火) 18時~

場所 上富良野西小学校チャレンジ天文台

定員 20人(中学生以下は保護者同伴)

申込期限 12月6日(金)

申込み・問合せ

教育振興課社会教育班 ☎5511



- 発行日 平成25年11月10日
- 発行 上富良野町
- 編集 町民生活課自治推進班
- 印刷 (株)総北海

■ご意見・ご感想をお寄せください。

☎071-0596

北海道空知郡上富良野町

大町2丁目2番11号

☎0167-6985 FAX0167-65362

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

jichi@town.kamifurano.lg.jp

●人のうごき●

平成25年10月31日現在

()は前月比

住民登録

人口 11,526人 (-14)
男 5,785人 (+3)
女 5,741人 (-17)
世帯 5,252世帯 (-11)

外国人住民 ※住民登録の内数

人口 31人 (-2)
男 10人 (±0)
女 21人 (-2)
世帯 20世帯 (-2)



10月17日。ふれあい昼食会で上富良野西小学校の6年生が合唱などを披露しました。食事中的1コマ。

